

2016年11月11日

各位

東京都台東区上野1丁目15-3

 会社名 **株式会社 ナガホリ**

 代表者名 代表取締役社長 長堀慶太
 (コード番号 8139 東証第2部)

 問合せ先 常務取締役管理本部長 田端 馨
 (TEL. 03-3832-8266)

平成29年3月期第2四半期累計期間の業績予想数値と実績値との差異、 通期業績予想の修正及び剰余金の配当(無配)、期末配当予想の修正に関するお知らせ

平成28年5月18日に公表いたしました平成29年3月期第2四半期累計期間(平成28年4月1日～平成28年9月30日)の業績予想数値と実績値との差異についてお知らせします。また、本日開催の取締役会において平成29年3月期通期業績予想の修正、当該修正に基づく年間配当金額予想の修正を決議いたしました。

記

●業績予想数値と実績値との差異、業績予想の修正について

平成29年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値と実績値との差異(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,200	△ 82	△ 102	△ 92	△ 6.00
実績値(B)	10,330	△ 117	△ 132	△ 196	△ 12.79
増減額(B-A)	130	△ 35	△ 30	△ 104	
増減率(%)	1.3	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	10,738	3	7	△ 19	△ 1.28

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	21,300	270	226	120	7.83
今回修正予想(B)	21,250	110	70	△ 103	△ 6.72
増減額(B-A)	△ 50	△ 160	△ 156	△ 223	
増減率(%)	△ 0.2	△ 59.3	△ 69.0	—	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	21,579	△ 72	△ 75	△ 992	△ 64.75

平成29年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値と実績値との差異(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,370	△ 71	△ 109	△ 7.11
実績値(B)	6,206	△ 115	△ 143	△ 9.32
増減額(B-A)	△ 164	△ 44	△ 34	
増減率(%)	△ 2.6	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	6,295	△ 148	△ 94	△ 6.12

平成29年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,500	170	100	6.52
今回修正予想(B)	13,300	70	△ 13	△ 0.84
増減額(B-A)	△ 200	△ 100	△ 113	
増減率(%)	△ 1.5	△ 58.8	—	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	13,105	△ 284	△ 713	△ 46.51

修正の理由

当第2四半期連結期間の業績予想につきましては、消費者の節約志向が高まる中、富裕層を顧客とする卸売事業は総じて健闘いたしましたが、ボリュームゾーンである中間層の消費行動が予想以上に生活防衛型に変化したことから、中間層を顧客とする卸売事業、直営小売業は苦戦を強いられました。連結業績では、粗利率の低い地金製品等の売上構成が増えたことにより利益率が予想を下回り、又、個別業績では中間層の消費マインドの低下により販売単価の低下が余儀なくされ売上高、粗利益率が予想を下回ることになり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益共に赤字を計上することになりました。

なお、通期の業績予想につきましては、ジュエリー業界の最盛期である第3四半期以降の期待もありますが、依然中間層の消費者行動については不透明感もあり、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益についても下方修正いたします。

(注)上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の業況の変化等により、予想数値と異なる可能性があります。

●剰余金の配当(無配)および配当予想の修正について

1.剰余金の配当(無配)

	決定額	直近の配当予想	前期実績
基準日	平成28年9月30日	平成28年9月30日	平成27年9月30日
1株当たり配当金	0円00銭	未定	5円00銭
配当金総額	—	—	76,678千円
効力発生日	—	—	平成27年12月1日
配当原資	—	—	利益剰余金

2.期末配当予想の修正の内容

	年間配当金				合計
	第1四半期末 円 銭	第2四半期末 円 銭	第3四半期末 円 銭	期末 円 銭	
前回予想 (28年8月9日発表)	—	—	—	—	—
今回修正予想	—	—	—	7.00	7.00
当期実績	—	0.00	—		
前回実績 (平成28年3月期)	—	5.00	—	5.00	10.00

修正の理由

当社は、業績に応じた適切な剰余金の配当を実施していく事を基本に、安定的な株主還元を実施する方針としております。

当期の剰余金の配当(中間配当)につきましては未定としておりましたが、現下の収益状況を踏まえまして、誠に遺憾ながら実施を見送らせて頂く事としました。

又、期末配当につきましては、上記業績予想の修正の理由の通りジュエリー業界の最盛期であります第3四半期以降に、予想通りの業績を上げる事を前提にいたしまして、年間1株当たり7円の配当予想とさせて頂くものです。

以上